

科目名	入門日本語	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			国際学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Introduction to Japanese Language	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	はしもと しほ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	橋元志保	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	日本語の基礎的な文法・文型を理解し、会話・聴解・読解・記述といった総合的な日本語能力の基盤をつくり、円滑に日本人とコミュニケーションが取れるようになる。			
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力が身につきます。 1. 基本文型をしっかりと身につけるために必要な基礎的な日本語の文法をマスターする。 2. 様々なシチュエーションで、適切な日本語の文型・語彙を用いて、会話できるようになる。 3. 日本語文の読解に慣れるために、N3 レベルの様々な文章を読み、理解できるようになる。			
授業概要	日本語の基礎的な文法・文型を良く理解させ、日本語を話す・聞く・読む・書く能力を段階的に伸ばしていきます。最初に日本語の習熟度をはかるためのテストを行い、受講生の日本語の修得に差がある場合は、文法のみレベル別の授業を行います。また、留学生生活を支障なく過ごすために、日本社会の慣習・常識・マナー等を理解し、日本人と円滑にコミュニケーションを行えるような日本語能力を育成します。			
授業計画				
第1回	ガイダンスー基礎力テストと自己紹介ほかー			
第2回	基本文型と会話			
第3回	文法と会話Ⅰー「否定形」と「疑問文」ー			
第4回	文法と会話Ⅱー「ます形」と「て形」ー			
第5回	文法と会話Ⅲー「ます形」と「ない形」ー			
第6回	文法と会話Ⅳー「ます形」と「辞書形」ー			
第7回	文法と会話Ⅴー「ます形」と「た形」ー			
第8回	文法と会話Ⅵー「丁寧形」と「普通形」ー			
第9回	文法と作文Ⅰー「動詞文」と「形容詞文」ー			
第10回	文法と作文Ⅱー「動詞文」「形容詞文」「名詞文」ー			
第11回	文法と作文Ⅲー「格助詞」の用法ー			
第12回	文法Ⅰー「格成分」の主題化ー			
第13回	文法Ⅱー「自動詞」と「他動詞」ー			
第14回	読解Ⅰーエッセイまたは短編小説を読むー			
第15回	読解Ⅱー感想を話す・書くー			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 基本文型・文法を一つずつ丁寧に解説していきますので、授業の後にも必ず、復習してください。また、漢字・熟語等は毎日少しずつ覚えていきましょう（1.5時間程度）。 2. 授業でも様々な本を紹介しますが、日本語の本や雑誌、新聞を少しずつでも良いので、読む習慣を身につけましょう（1時間程度）。 3. 覚えた文型や言葉を使って、日本人の友人たちと積極的に会話してみましょう（1時間程度）。			
履修条件 受講のルール	特にありません。ただ日本語能力の向上を目指し、真面目に学修に取り組むこと、特に授業中は出来るだけ母国語ではなく、日本語を使うように努めることが望ましいです。			
テキスト	資料を配布するか、ポータルサイトに掲載します。 『みんなの日本語初級Ⅰ』第2版（スリーエーネットワーク 2022年）ほか			

参考文献・資料	原沢伊都夫『考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法』（スリーエーネットワーク 2018年）ほか
成績評価の方法	<p>【主体的な学びの姿勢（25%）、課題の提出（25%）、試験（50%）】を基に、総合評価をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。 2. 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。 3. 授業中の迷惑行為は厳禁です。そのような行為を繰り返し、注意しても改めない時は、履修または単位を認定できない場合があります。 <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	火曜日 13時00分～14時30分 / 木曜日 13時00分～14時30分 ※これ以外の時間は事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	一緒に楽しく、日本語の基礎を学びましょう。まず、日常生活に使える日本語のフレーズや日本社会のマナー・常識を身につけていきます。その上で、文法の基礎をしっかりと身につけ、聴解・読解・記述等の総合的な日本語能力を伸ばしていきましょう。